

## 2019年度燕市観光協会事業報告及び収支決算報告について

## 1. 観光イベント開催事業 16,271,790円

## (1) つばめ桜まつり (事業費12,928,056円)

メインイベントの「分水おいらん道中」を含む「つばめ桜まつり」期間中は天候に恵まれ、多くの地域団体の協力の下、様々な取り組みを実施でき、期間中入込数は延べ70,000名となりました。一方で、道中当日の体調不良者対応や安全管理に課題が残り、今後もイベントに付帯した改善等の必要性を再認識しました。

◎つばめ桜まつり	4月7日(日)～21日(日)
・夜桜ライトアップ(市内3ヶ所)	4月7日～21日
・さくらフェス@吉田ふれあい広場	4月13日(土)
・さくらフェス@燕市交通公園&こどもの森	4月14日(日)
・第77回分水おいらん道中	4月21日(日)

## (2) 酒吞童子行列 (事業費3,343,734円)

初の雨天開催となり、イベント内容一部を中止・縮小したため、会場周辺入込数は延べ3,000名に留まりましたが、多くの地域団体の参画協力の下、京都府福知山市や京都市「妖怪藝術団体百妖箱」の妖怪5体をお招きして、参加者229名で行列しました。また、イベント当日以外にも「おにフェス」や人形劇などでの各種PR活動や物販が好評で、「妖怪藝術団体百妖箱」主催の「京都一条百鬼夜行」にも参加して相互交流を図り、魅力的な地域資源のPRを広く実施しました。

◎第15回越後くがみ山酒吞童子行列	9月29日(日)
-------------------	----------

## 2. 受託事業 14,925,801円

## (1) つばめ「おもてなし力」アップ事業 (事業費:6,513,408円)

リニューアル後の燕市産業史料館～各工場視察をコース提案し、国内外から燕市への視察の方々へのおもてなしや、JRトランスイート四季島等、視察団体の案内を行った他、マニュアルの作成をはじめ資料の共有化をはかりました。

また、市内の観光ボランティアガイド団体等への活動支援も行いました。

なお、本事業は、2019年度をもって終了となりました。

◎観光ナビゲーター稼働実績

- ・別紙参照

◎各種ボランティアガイド団体の活動支援

- ・国上山ボランティアガイド「はちの子会」による良寛史跡ガイドの活動支援  
4月～11月 計3,367名へガイドを実施
- ・「里山花とみどりの会」への国上山エコトレッキングツアーのガイド依頼  
4回開催 計94名の参加（3月は感染症拡大防止のため中止）
- ・「ネットワークみどり緑」による薬草観察と薬膳料理の開催支援  
年間2回開催 計24名の参加

(2) 燕市産業史料館運営業務事業

(事業費：7,473,910円)

燕市産業史料館のリニューアルに伴い、各種受付・業務実施にかかるフォーマットの作成、運営・対応を施設管理者である燕市とともにを行い、史料館窓口業務及び、史料館企画展運営業務を実施いたしました。年間入館者数18,130名と、1973年の開館以来最多の入館者数となりました。

なお、本年3月はコロナウイルス感染防止のため各種注意喚起表示、衛生管理などの対策強化にも取り組みました。

◎2019年度開催企画展

- |                     |              |
|---------------------|--------------|
| ・山崎金属工業株式会社100周年記念展 | 6月7日～7月21日   |
| ・照井康一ガラス展           | 8月2日～9月16日   |
| ・松浦靖世界のスプーン展        | 10月3日～11月17日 |
| ・株式会社玉虎堂製作所100周年記念展 | 12月6日～1月19日  |
| ・水燕鎚工会作品展※解説会は中止    | 2月7日～3月15日   |

(3) つばめ情報発信戦略事業

(事業費：938,483円)

各種申込フォームの整備、協会員情報掲載ページの公開など、協会ウェブサイトでの情報発信の機会を充実させるとともに、新潟県観光協会のウェブサイト「新潟観光ナビ」とデータ連携を行い、運用負担の軽減により迅速な更新を行えるよう整備しました。

また、SNSの積極的な活用にあわせ、キャンペーン用ノベルティグッズを作成し、情報発信の活発化を図りました。

その他、セキュリティ強化を継続して行き、不正アクセスや情報漏洩を防ぐ対策を行いました。

### 3. 観光プロモーション事業

1,475,454円

#### (1) 観光プロモーション事業

需要の高いパンフレット・チラシの作成・増刷や、各種パブリシティ等の活用の他、公共施設等に告知展開を図り、知名度向上と誘客促進を図りました。

- ・新聞広告掲載などによる広報活動（毎日新聞、三條新聞、新潟日報など）計8回
- ・大会・会合開催パンフレットへの協賛広告（良寛会・ゲートボール大会）計2回
- ・県内テレビ広告による広報活動 計1回
- ・2020年度版体験パンフレット制作 10,000部
- ・産業史料館体験チラシ英語版 5,000枚
- ・各パンフレットの増刷(工場見学・体験・釜めしマップ)

### 4. 観光資源活用事業

432,054円

#### (1) 産業観光体験開催事業

(事業費：244,148円)

リニューアル後の産業史料館の体験工房館にて、期日限定のモノづくり体験を実施しました。

産業観光の拠点である、史料館での開催により、入館者数増を図り、さらなる体験メニューの拡充に努めました。

- ・鋳起銅器の体験(講師：水燕鋳工会) 年間9回開催 参加者数 143名
- ・彫金の体験 (講師：大岩彫金) 年間7回開催 参加者数 57名

#### (2) 他団体支援事業

(事業費：143,256円)

新潟県指定天然記念物である八王寺安了寺の白藤の保存活動に取り組む八王寺大白藤保勝会の活動のひとつ、藤まつり開催時期のライトアップの支援を実施しました。また、開花状況を随時把握し、問い合わせ対応やSNSでの情報発信も行いました。

萬燈や天満宮など、地域の歴史ある伝統行事の広報ポスター制作に関わる支援を行うとともに、行事開催の告知を行いました。

#### (3) 国上山山開き事業

(事業費：10,000円)

本年3月22日に山開きセレモニーを開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、関係者が代表して国上寺による安全祈願の御祈禱を受けました。

(4) まちあるき事業

(事業費：34,650円)

地域観光の基本でもある「まちあるき」を、2回協会主催で実施した他、吉田まちづくり協議会・まちぶんくらぶとの共催で開催しました。この他、市内では分水小学校区まちづくり協議会主催のまちあるきにも協力しました。

・燕三条まちあるき 協会主催・共催 3回 参加者 計25名

<b>燕市観光協会運営費</b>
------------------

<b>31,665,993円</b>
--------------------

(1) 運営体制

本年より、事務局長1名、協会職員3名、燕市からの出向職員3名に加え、観光ナビゲーターと、史料館運営事業にかかる臨時職員4名、さらに地域おこし協力隊1名の合計12名にて、事業の増加、多様化に対応いたしました。

常勤職員数が10名を超えたことで、社会労務士へ委託のもと就業規則を制定し、労働基準監督署への提出、労務体制・管理の整備を行いました。また、職員数の増加にともなう各届出、納付などの変更に対し、法人としての義務を果たすべく各種法令を遵守し対応いたしました。

職員の増加及び事業の多様化の中で、諸経費の増加を必要最低限にとどめるなど、経費削減に努めました。